タイラス・トレス

大林先生
言の葉の庭

2019年3月26日

きれいな映画とロマンチック物語は誰の気を引くうとした。このエッセイの目的は、2013年公開した映画「言の葉の庭」を復習している。最初に、概要を復習する。後で映画を詳細に検証していくことになる。

 主人公はタカオさんだて、若い高校生と靴職人。彼が東京でお兄さんと住んでいる。彼のお母さんは新恋人と住んでいた。なぜか、雨があったらタカオさんは一限目をずる休みした。一つサボる時間で、庭の中に知らない女性を会った、彼女の名前はユキノだ。彼女はビるとチョコを食べているだけど、実は彼女が仕事をサボるいった。おしゃべりを楽しんだ後で、彼女は「雷神の 少し響みて さし曇り 雨も降らぬか 君を留めむ」と言い残して去っていった。まもなく、二人が毎の雨日で庭に会うことになった。一月後、二人は友達になってから、タカオさんがユキノから靴の作り方高直な本を受けった。この時中、タカオさんは女性の靴を作り欲しいを説明した、ユキノために靴を作りたいになった。彼が庭でユキノの足を測定した。少し間をおいて、雨が止まったと彼らはお互いに見えなかった。お互いに恋しいだった。専門学校を行くようにお金を貯めるを集中しているために、タカオさんは学校休みの間にアルバイトを仕事した。授業が再開したとき、高校でユキノさんを見たけど、彼はユキノが先生だって悟った。そして、ユキノさんについて尋ねってはじめった。すぐに、ユキノさんが女子高生の嫌がらせによって退職に追い込まれたことを知った。タカオさんはそのいじめ高校生たちを直面して、論議がけんかになった。後に庭でユキノさんに会って、タカオさんとユキノ先生は話した。その時で、突然雨が激し降り始めて、彼らは雨宿りをする場所を探してけど、まだずぶぬれになった。服を乾かすために二人はユキノのアパートに行って、一緒に昼ご飯を料理していた。コーヒーを作りながら、タカオさんはユキノを大好きになったと告白した。話し合いはちょっと中断した後で、ユキノは彼の気持ちとは触れなかった、彼女が先生だてこの学期後で四国に帰るつもりだ説明した。気持ちを傷つけられだから、タカオさんは彼のコーヒーをの飲まないでさようならと言ってユキノのアパートを去った。そのときで、ユキノさんは二人の良い思い出をかんがえた。タカオさんを失うことを恐れて、ユキノさんはアパートから外に走り始めた。ユキノさんは階段で転んだ、でも彼女が立って、走る続けた。タカオさんに追いついた時、腹立ちまぎれに彼は、彼女を全然好きではなかったと言った。彼はユキノ先生が 彼が高校生だて最初からわかっていたけど、彼女が先生だについて何を言ったことはない怒っていた。ついに、ユキノさんは彼をしっかりだ抱きしめて、実は彼が彼女を救ったと言った。彼らがお互いにの肩に泣いてはじめた。この後で、映画を終わった。

この映画のテーマは最初の愛についてだけど、憂鬱状態を防ぐのについてもあるだと思う。タカオの家庭生活はちょっと複雑だけど、彼は一人で自分の目的を作りた。反面に、ユキノさんは高校の問題からだんだん鬱になったけど、彼女に誰も手伝ってはない。ユキノさんは回復できたの理由はタカオさんが手を探して、彼女は一人で歩ける。この映画の中にいろいろな隠喩の例がある。たとえば、タカオさんはユキノのアパートを去った時では、彼のコーヒーを飲まなかった。そのコーヒーは審議未了事項のようである。ユキノさんとタカオさんの真情を表さなかったので、彼らが話しては必要だった。

全体的にはこの物語は良いと思う。アニメーションはとてもきれい。たぶん、エンディングは悲しみだって、タカオとユキノがどうなるのか知りたい、彼女が四国に戻った後、タカオは年上のときに彼女を訪問しますか。そうだといい。